

使用前にこの説明文書を必ずお読み下さい。  
また、必要な時に読めるよう大切に保管して下さい。

第2類医薬品 つらいのどの痛みや発熱を伴うかぜにすぐれた効果を発揮

# ルルアタックEXプレミアム

## ルルアタックEXプレミアムの特徴

不快なかぜ症状の原因となる【炎症】をおさえる総合かぜ薬です。

1. 抗炎症成分イブプロフェン600mgとトラネキサム酸750mgをダブル配合(9錠中)ののどの痛み、発熱などにすぐれた効果を発揮します。
2. 独自の製剤技術によりイブプロフェンが早く溶け出し、効果を発揮します。
3. 抗ヒスタミン成分*d*-クロルフェニラミンマレイン酸塩が、かぜのアレルギー症状(鼻水・鼻づまり等)をおさえます。
4. ジヒドロコデインリン酸塩と*dl*-メチルエフェドリン塩酸塩が、つらいせきをしずめます。
5. 携帯に便利なPTP包装です。



## 使用上の注意

### ⊗ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

1. 次の人は服用しないで下さい。
  - (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人
  - (2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人
  - (3) 15歳未満の小児
  - (4) 出産予定日12週以内の妊婦
  - (5) 医療機関で次の病気の治療や医薬品の投与を受けている人 胃・十二指腸潰瘍、血液の病気、肝臓病、腎臓病、心臓病、高血圧、ジドブジン(レトロビル)を投与中の人
2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないで下さい。  
他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等(鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等)、トラネキサム酸を含有する内服薬
3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないで下さい。  
(眠気等があらわれることがあります)
4. 授乳中の方は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けて下さい。
5. 服用前後は飲酒しないで下さい。
6. 5日間を超えて服用しないで下さい。
- \*7. 過量服用しないで下さい。



### 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。
  - (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人
  - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人
  - (3) 高齢者 (4) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人
  - (5) 次の症状のある人 高熱、排尿困難
  - (6) 次の診断を受けた人 甲状腺機能障害、糖尿病、緑内障、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病、気管支ぜんそく、血栓のある人(脳血栓、心筋梗塞、血栓性静脈炎等)、血栓症を起こすおそれのある人、呼吸機能障害、閉塞性睡眠時無呼吸症候群、肥満症
  - (7) 次の病気にかかったことのある人 胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン病、血液の病気、肝臓病、腎臓病

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ、青あざができる
消 化 器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胃部不快感、胃痛、口内炎、胸やけ、胃もたれ、胃腸出血、腹痛、下痢、血便
精神神経系	めまい、不眠、気分がふさぐ
循 環 器	動悸
呼 吸 器	息切れ
泌 尿 器	排尿困難
そ の 他	目のかすみ、耳なり、むくみ、鼻血、歯ぐきの出血、出血が止まりにくい、出血、背中の痛み、からだがだるい

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
血液障害	のどの痛み、発熱、全身のだるさ、顔やまぶたのうらが白っぽくなる、出血しやすくなる(歯ぐきの出血、鼻血等)、青あざができる(押しても色が消えない)等があらわれる。
消化器障害	便が黒くなる、吐血、血便、粘血便(血液・粘液・膿の混じった軟便)等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (ステーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。
無菌性髄膜炎	首すじのつっぱりを伴った激しい頭痛、発熱、吐き気・嘔吐等があらわれる。(このような症状は、特に全身性エリテマトーデス又は混合性結合組織病の治療を受けている人で多く報告されている)
心筋梗塞	しめ付けられるような胸の痛み、息苦しい、冷や汗が出る。
脳血管障害	意識の低下・消失、片側の手足が動かしにくくなる、頭痛、嘔吐、めまい、しゃべりにくくなる、言葉が出にくくなる等が急にあらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
再生不良性貧血	青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらっとする、血尿等があらわれる。
無顆粒球症	突然の高熱、さむけ、のどの痛み等があらわれる。
呼吸抑制	息切れ、息苦しさ等があらわれる。

3. 服用後、過度の体温低下、虚脱(力が出ない)、四肢冷却(手足が冷たい)等の症状があらわれた場合には、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。
4. 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。 便秘、口のかわき、眠気

(裏面に続く)


5. 5～6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。  
(特に熱が3日以上続いたり、また熱が回復したりするとき)

## ■ 効能・効果

かぜの諸症状（のどの痛み、発熱、悪寒、頭痛、鼻水、鼻づまり、くしゃみ、せき、たん、関節の痛み、筋肉の痛み）の緩和

## ■ 用法・用量

次の量を水又はお湯で服用して下さい。

年齢	1回量	1日服用回数
成人（15歳以上）	3錠 	3回 食後なるべく30分以内に服用して下さい。
15歳未満	服用しないで下さい。	

〈用法・用量に関連する注意〉

(1) 用法・用量を厳守して下さい。

(2) 錠剤の取り出し方

右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押し、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用して下さい。(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります)



## ■ 成分・分量

本剤は白色のフィルムコーティング錠で、9錠中に次の成分を含有しています。

成分	分量	はたらき
イブプロフェン	600mg	炎症や痛みのもと【プロスタグランジン】にはたらき、のどの痛み等をおさえ、熱を下げます。
トラネキサム酸	750mg	炎症のもと【プラスミン】をおさえ、のどのはれや痛みをしずめます。
d-クロルフェニラミンマレイン酸塩	3.5mg	かぜのアレルギー症状（鼻水、鼻づまり等）をおさえます。
dl-メチルエフェドリン塩酸塩	60mg	気管支をひろげ、せきをしずめます。
ジヒドロコデインリン酸塩	24mg	せき中枢にはたらき、せきをしずめます。
無水カフェイン	75mg	頭痛をやわらげます。
ベンフォチアミン（ビタミンB <sub>1</sub> 誘導体）	25mg	かぜによって消耗した体力の回復を促します。
リボフラビン（ビタミンB <sub>2</sub> ）	12mg	のどや鼻等の粘膜を健康に保ちます。

添加物：ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油、ヒプロメロース、D-マンニトール、セルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、無水ケイ酸、タルク、クロスカルメロースNa、ポリビニルアルコール（部分けん化）、クエン酸トリエチル、酸化チタン、カルナウバロウ

〈成分・分量に関連する注意〉

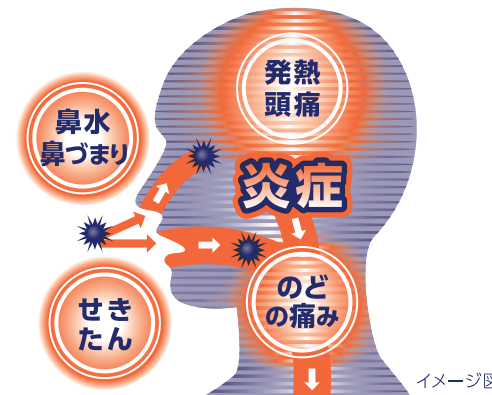
本剤に配合されているリボフラビン（ビタミンB<sub>2</sub>）により、尿が黄色になることがあります。

## ■ 保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管して下さい。
- (2) 小児の手の届かない所に保管して下さい。
- (3) 他の容器に入れ替えないで下さい。(誤用の原因になったり品質が変わります)
- (4) 表示の使用期限を過ぎた製品は使用しないで下さい。また、アルミ袋を開封した後は、12カ月以内に使用して下さい。
- (5) 箱の「開封年月日」記入欄に、アルミ袋を開封した日付を記入して下さい。

### かぜの原因とは？

かぜとは「のど」や「鼻」などの「上気道の急性炎症性疾患」です。ウイルス等が、のどや鼻などから体内に侵入し、過剰な炎症反応を引き起こします。この炎症反応が、のどの痛み、鼻水、せき、たんなどの呼吸器症状、さらには発熱などの原因となります。まず、炎症をコントロールしてしずめることが、かぜ症状緩和のポイントです。また、かぜをひいた時にはビタミンを摂取することや、しっかり睡眠をとることも重要です。



本品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店又は下記にお願い致します。

第一三共ヘルスケア株式会社 お客様相談室  
〒103-8234 東京都中央区日本橋3-14-10  
電話 0120-337-336  
受付時間 9:00~17:00(土、日、祝日を除く)

ルルについて詳しくは [www.lulu.jp](http://www.lulu.jp)

04 登録商標

製造販売元  
**第一三共ヘルスケア株式会社**  
Daichi-Sankyo 東京都中央区日本橋3-14-10

ホームページ <https://www.daiichisankyo-hc.co.jp/>